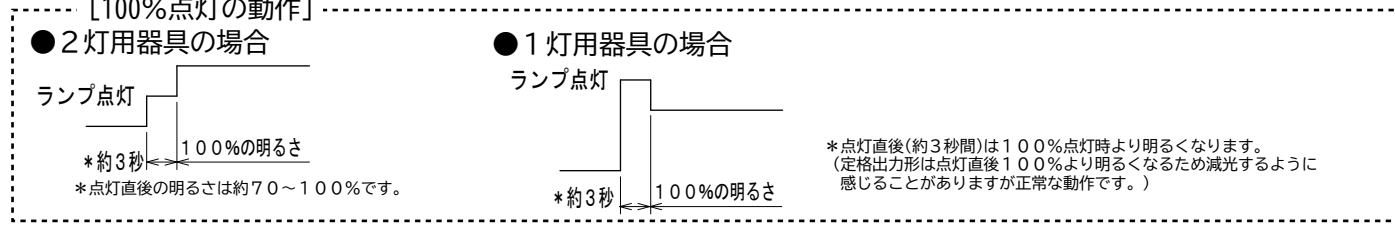


- リセット操作が完了しますと、点灯13秒後に約70%の明るさに変化します。
- リセット操作後、最初の点灯で前頁の図の様に明るさが変化しない場合は、リセットが正しく行われていません。再度リセット操作を行ってください。
- リセット後の動作では、約70%の明るさに変化後1分間以上点灯させたままにしてください。
(初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがスタートしません。)
- 2回目以降の点灯からは初期照度補正された明るさで点灯します。
(2回目以降はリセット動作確認のための100%点灯状態(10秒間)の動作は無くなります。)

初期照度補正を解除する操作(100%点灯にする場合)

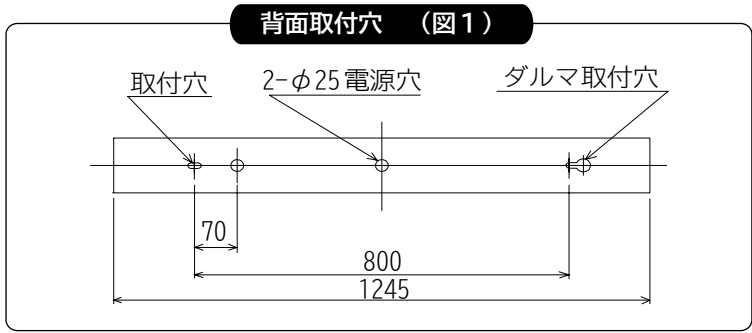
- 電源ONの状態から、1秒を目安に“OFF→ON”の操作を6回繰り返す。
6回目の電源ON状態で約3秒後に初期照度補正機能が解除されます。
解除操作後、明るさが変化しない場合は、初期照度補正機能の解除が正しく行われていません。
再度、解除操作を行ってください。
- 初期照度補正機能を解除した後に、上記の操作を行うと再度、初期照度補正機能に戻ります。
この操作をすると、初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがリセットされますのでご注意ください。



取り付けかた

(図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)

- 1
- 取付前に確認する。
- 取付ボルトまたは木ねじ取付部は、器具質量(表1)に十分耐える補強のある天井面に設ける。
 - 取付ボルトの出代は天井面より25mm以下にする。(図2)取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。



- 2
- 器具本体を取付ボルトで天井面に確実に取り付ける。
- (図1及び2)
- 電源線・アース線を本体中央の電源穴から引き込んでおく。他の電源穴から引き込む場合は、ブッシュを付けかえてください。

- 3
- 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図3)
- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
 - 反射板で挟まないよう電線を処理する。
 - アース工事はD種接地工事を行う。
 - 電源線を解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーで解除部を押してはまず。
 - アース線を解除する場合は、幅6mm以下のマイナスドライバーを解除用穴に挿入してはまず。

- 4
- 反射板を確実に取り付け。(図4)
- ①反射板の切り欠きの片側を本体内面の切り起こしの片側に引っ掛け固定する。
 - ②反射板を内側にすぼめて、反対側の切り欠きを切り起こしに確実に取り付け。

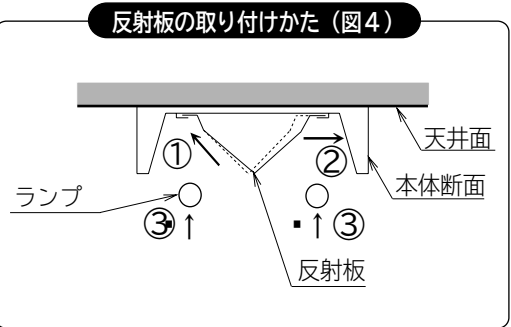
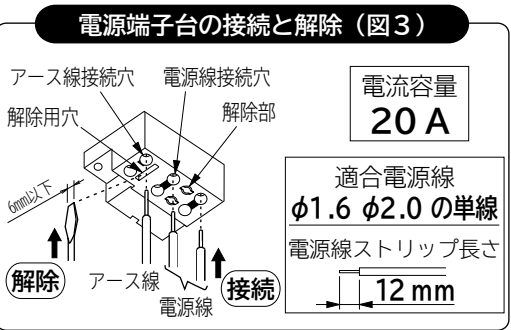
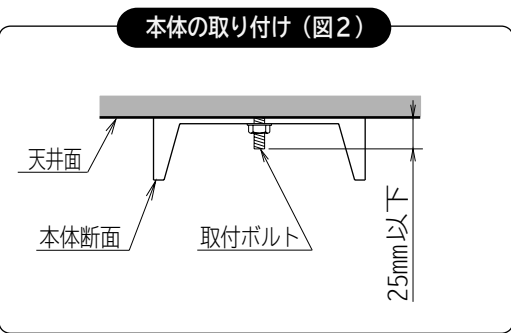
- 5
- ランプを確実に取り付け。(図4 ③)
- ランプ取り付け時のご注意
- ソケットは回転式で、ランプを挿入後90度ごとに固定・解除となります。

注意 取り付けに不備があると落下によるけがの原因となります。

- 6
- 工事完了後にランプが正常に点灯するか確認する。

器具質量 (表1)

器具形式	灯数	器具質量
HNM4223V	2	3.7kg



お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- 警告**
- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
 - 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
 - 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
 - ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行う。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。

- 注意**
- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。※火災の原因となります。
 - 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。
 - ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしない。※火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。

- ご使用上の注意
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
 - 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
 - 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
 - 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
 - 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

初期照度補正機能付照明器具ご使用上の注意

- 初期照度補正機能とはランプ初期の余分な明るさを自動補正する機能です。一般的に新しいランプは設計照度より30%程明るくなります。初期照度補正機能とは、ランプ初期の余分な明るさを抑え、設計照度(ランプ初期時の約70%の光束)を保つように、器具ごとに明るさを自動補正する機能です。本器具には累積点灯時間を記憶するタイマーを内蔵しており、新しいランプに交換した場合は次の操作が必要となります。
- ランプを寿命末期まで使用の場合
寿命を検出し(間欠発振後、発振停止となります)、ランプを消灯して自動的にリセットします。ランプ交換後は、ランプの明るさが初期照度補正状態に戻ります。
 - ランプを寿命末期前に交換する場合(手動でのリセット操作が必要です。)
ランプ寿命前に新しいランプと交換する場合には、自動リセットが動作しないため、手動でのリセット操作が必要となります。

- 個別にランプ交換を行う時のリセット操作(その器具だけをリセットする場合)
- ①電源OFFした後、古いランプを取り外す。ランプを取り外した状態で、電源ONにして5秒以降に次の操作をしてください。
 - ②電源OFF(約1秒)→電源ON(約1秒)を3回繰り返す。
3回目の電源ON状態で5秒以上通電して下さい。約5秒後にリセットされます。
 - ③電源OFFにして新しいランプを取り付けた後、電源ONにしてください。
初期照度補正された明るさで点灯します。(リセット後の動作は下図の通りです。)
- ※個別にランプ交換を行う時のリセット操作を6回以上繰り返すと、同一スイッチ回路内のランプが接続された器具の初期照度補正機能が解除されますので、ご注意ください。

- 一斉にランプ交換を行う時のリセット操作(全ての器具を一斉にリセットする場合)
- ①電源OFFした後、新しいランプに交換する。ランプ交換後、電源ONにして5秒以降に次の操作をしてください。
 - ②電源OFF(約1秒)→電源ON(約3秒)を6回繰り返す。6回目の電源ON状態で5秒以上通電して下さい。
約5秒後にリセットされ、初期照度補正された明るさで点灯します。(リセット後の動作は下図の通りです。)

